

2月17日 東地申第45号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の 申し入れ【田端運転所】団体交渉を行なう! その①

1. 田端運転所の乗務員の標準数を明らかにすること。

回答: 現業機関での柔軟な働き方の推進の趣旨を踏まえ、現業機関における業務量については、年間を通じた平均的な業務量の基準として、「変形等」「交代」「乗務員」の1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を「管理・一般」に分けて示すこととした。

組 合

- 必要な要員が確保されているのかが分からないため、標準数で示すべきだ。
- 職場では休日出勤が増加している。

会 社

- 柔軟な働き方の考えでは、今までの示し方ではそぐわないため、提案箇所体制で示している。また、必要な要員については責任をもって確保していく。

必要な要員については会社が責任をもって確保することを確認!

2. 田端運転所における、乗務員の業務等の見直しの変更点及び乗務員の労働時間の算定に向けた再実測の変更点について、以下の通り明らかにすること。

(1) 徒歩時間

① 各駅の詰所から乗継箇所 ② 各本区から乗継箇所(準備・整理)

(2) 入出区における時間

回答: 安全・安定輸送を確保しつつ、働きやすさの向上を図りながら見直しを行うものである。なお、必要な時間は確保していく考えである。

3. 乗務員基地再編施策に関する面談を行い、異動者については本人希望を十分に尊重し、丁寧に懇話をを行うこと。

回答: 異動については、就業規則に則り取り扱うことになる。

- 田端運転所でアンケートを取った。定期行路が無くなるので人数が減る。秋の面談だけで終わっているため、社員が不安になっている。本人希望を重視してほしい。
- 再面談は行うのか?

- 就業規則に則り行っている。
- 管理者がコミにケーションをとって社員の思いを聞いている。
- 今のところ、行う考えはない。

2月17日 東地申第45号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の 申し入れ【田端運転所】団体交渉を行なう! その②

4. 田端運転所は臨時列車のみを乗務することで安全が確保できる根拠を示すこと。また、乗務する各本線については技量維持・技量向上の観点から定期列車を定期行路として残すこと。

回答: 田端運転所の定期行路は他区所に移管する。なお、必要な教育・訓練は実施していく考えである。

- アンケートで多くの方が定期行路を持たなくなると、技量維持が出来なくなると感じている。
- 定期列車の速度感が無いと技量維持が出来なくなる。
- 臨時は本数が少なく、行路の取り合いになってしまう。

- 定期行路を持たないと技量維持が出来なくなるとは思っていない。
- 臨時でも出来るし、定期列車のハンドルを借用すれば維持できる。
- 試運転、シュミレーター、ハンドル借用などで行ってほしい。

5. 田端運転所において四季島の営業運転を含めた乗務を技量維持・技量向上の観点から全運転士が担当できるようにすること。

回答: TRAIN SUITE 四季島を担当する乗務員に対し、必要な教育・訓練は実施していく考えである。

- 田端で出来る人が限られているので、全員に乗れるチャンスを与えてほしい。
- 担当する人は、基準を明確にして公正、公平に行ってほしい。

- 皆が乗れる形が望ましいが、現車訓練・ハンドル実習・養成など全員とはならない。
- 技量が十分で希望をすれば選考して行く考えである。

6. 職場では乗務員勤務制度から除外されると説明されているが、どのような勤務制度になるのか明らかにすること。

回答: 勤務については、就業規則に則り取り扱うことになる。

- 7時間30分は何故か。
- 行路の作り方に変わりはないか。

- 7時間10分は乗務割交番であり、定期行路が無いため作れない。
- 変わらない。

2月17日 東地申第45号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の 申し入れ【田端運転所】団体交渉を行なう! その③

7. 異常時における乗務に関する会社の考えを明らかにすること。

回答:必要な教育・訓練は実施していく考えである。

- 異常時はどのようになるのか。
- 定期列車がなければ、技量の維持が困難となり、対応が出来なくなっていく。
- 異常時だからこそ、乗れるようにするべきではないのか。
- UTの北口については上野運輸区が担うが、状況により田端にも依頼する。
- 臨時列車があるので、技量を維持できる。
- 線見など、自分たちが設定して行うのは否定しない。

8. 田端運転所の乗務に関しては乗務員勤務制度に則り作成すること。

回答:就業規則に則り取り扱うことになる。

9. 乗務員の短時間勤務の作り方について会社の考え方を示すこと。

回答:育児・介護勤務者 A 適用者の労働時間を6時間として勤務指定する。

- 短時間設定は、乗務6時間・デスクワーク6時間でよいのか。
- 乗るものがあれば乗務できるが、乗れない車種だとデスクワークになる。
- その通りである。
- 臨機応変に対応していく。

安全・安心・ゆとりのある職場を実現するため、

働く全ての仲間と声をあげよう!!